



通話

- [コールの発信, 1 ページ](#)
- [コールへの応答, 5 ページ](#)
- [コールのミュート, 8 ページ](#)
- [コールの保留, 8 ページ](#)
- [コールの転送, 10 ページ](#)
- [通話の転送, 11 ページ](#)
- [電話会議とミーティング, 12 ページ](#)
- [電話機のグループのページング \(マルチキャスト ページング\) , 13 ページ](#)
- [複数の回線, 13 ページ](#)
- [モバイル デバイスとデスクの電話機, 15 ページ](#)

コールの発信

Cisco IP Phone は、通常の電話機と同じように動作します。より簡単な操作で通話を発信できます。

電話をかける

電話機では、他の電話機と同じようにコールを発信できます。

手順

番号を入力して、[コール (Call)] を押します。

ダイヤルアシスタンス リストによるコールの発信

番号をダイヤルするときにダイヤルアシスタンスが設定されていると、ダイヤルアシスタンスリストにディレクトリと通話履歴からの提案が表示されます。


手順

-
- ステップ 1** ナビゲーション ボタンを使用して、ダイヤルアシスタンス リストに表示されている電話番号をハイライトします。
- ステップ 2** コールを発信するには、[ダイヤル (Dial)] または [コール (Call)] を押します。
-

スピーカーフォンによるコールの発信

スピーカーフォンは、ハンズフリー コールに使用します。ただし、同僚がこちらの声を聞いている可能性があることに注意してください。

手順

-
- ステップ 1** キーパッドを使用して番号を入力します。
- ステップ 2** [スピーカーフォン (speakerphone)] ボタン  を押します。
-


関連トピック

[ヘッドセット](#)

ヘッドセットによるコールの発信

ヘッドセットをハンズフリー コールに使うと、同僚の邪魔にならず、プライバシーも得られません。

手順

-
- ステップ 1** ヘッドセットを差し込みます。
- ステップ 2** キーパッドを使用して番号を入力します。
- ステップ 3** [ヘッドセット (headset)] ボタン  を押します。
-

番号をリダイヤルする

最後にダイヤルした電話番号をもう一度発信することができます。

手順

- ステップ1 (任意) 回線を選択します。
- ステップ2 [リダイヤル (Redial)] を押します。
- ステップ3 [発信履歴 (Placed calls)] リストから連絡先を選択し、[コール (Call)] を押します。

短縮ダイヤル

短縮ダイヤルでは、ボタン押し、事前に設定したコードを入力するか、電話機の画面項目を選択すると発信できます。短縮ダイヤルは、電話画面と、電話機の Web ページから設定できます。

短縮ダイヤル コードを編集、削除、検証することができます。


関連トピック

[\[設定ユーティリティ \(Configuration Utility\)\] ページ](#)
[短縮ダイヤル番号](#)

電話画面からの短縮ダイヤル コードの割り当て

電話画面から短縮ダイヤルを設定できます。また、電話機の [設定ユーティリティ (Configuration Utility)] ページから短縮ダイヤル コードを割り当てることもできます。

手順

- ステップ1 [アプリケーション (Applications)] ボタン  を押します。
- ステップ2 [短縮ダイヤル (Speed dial)] を選択します。
- ステップ3 割り当てられていない短縮ダイヤル インデックスまでスクロールします。
- ステップ4 [編集 (Edit)] ボタン を押し、次のいずれかを実行します。
 - 名前と番号を入力します。
 - [オプション (Option)] > [連絡先から選択 (Select from contact)] を選択してアドレス帳から連絡先を選択します。
- ステップ5 [保存 (Save)] を選択します。

短縮ダイヤルコードを使用したコールの発信

はじめる前に

電話機の [設定ユーティリティ (Configuration Utility)] ページまたは電話機の [アプリケーション (Applications)] メニューから、短縮ダイヤルコードをセットアップします。

手順

短縮ダイヤルコードを入力し、[コール (Call)] を押します。

回線キーの短縮ダイヤルの設定

電話機のアイドル回線キーを押して、そのキーに短縮ダイヤルをセットアップすることができます。回線キーの横にある電話画面に、短縮ダイヤルアイコン、名前、内線番号が表示されます。また、[設定ユーティリティ (Configuration Utility)] ページの [拡張機能 (Extended Function)] フィールドでこの変更を確認することができます。回線キーに短縮ダイヤルを設定した後に、回線キーを押して短縮ダイヤル情報を変更し、新しい電話番号と名前を割り当てることができます。

はじめる前に

Web ページに移動し、短縮ダイヤル キーにする回線キーを無効にします。

手順

-
- ステップ 1 電話機のアイドル回線キーを 2 秒以上押します。
 - ステップ 2 [短縮ダイヤル (Speed-Dial)] ウィンドウで、この回線キーを押したときにコールする短縮ダイヤルの名前と電話番号を追加します。
 - ステップ 3 [保存 (Save)] をクリックします。
-

回線キーからの短縮ダイヤルの削除

電話機の回線キーを押して、割り当てられた短縮ダイヤルを削除できます。回線キーの短縮ダイヤルが削除されます。[設定ユーティリティ (Configuration Utility)] ページで、短縮ダイヤルが削除されたことを確認できます。

手順

-
- ステップ1 短縮ダイヤルが設定されている回線キーを2秒以上押します。
 - ステップ2 電話画面の[短縮ダイヤル (Speed-Dial)]ウィンドウで、[オプション (Option)]>[削除 (Delete)]を押します。
-

国際番号のダイヤル

電話番号の前にプラス記号 (+) を付けると、国際電話をダイヤルできます。

手順

-
- ステップ1 アスタリスク (*) を1秒間以上押したままにします。
電話番号の先頭にプラス (+) 記号が表示されます。
 - ステップ2 番号をダイヤルします。
最後のキーを押してから10秒後に、電話機から番号が発信されます。
-

安全なコール

社外の人物による不正な改ざんからコールを保護するために、管理者は措置を講じることができます。通話中にロックアイコンが電話機に表示される場合、コールは安全です。電話機の設定によっては、電話をかける前にサインインする必要が生じたり、ハンドセットからセキュリティトーンが聞こえたりすることがあります。

コールへの応答

Cisco IP Phone は、通常の電話機と同じように動作します。より簡単な操作で通話に応答できます。

コールに回答する

手順

赤色に点滅しているセッション ボタンを押します。電話機に複数の回線がある場合、最初に、赤色に点灯している回線ボタンを押します。

コール待機への応答

アクティブコール中にコール待機が発生すると、ビープ音が一度聞こえて、セッションボタンが赤色に点滅します。

手順

ステップ1 セッション ボタンを押します。

ステップ2 (任意) 複数のコール待機が存在する場合は、着信コールを1つ選択します。

コールの拒否

アクティブコールまたは呼び出し中の着信コールを、ボイスメールシステムや設定済み電話番号に送信できます。

手順

着信コールを強調表示して、[拒否 (Decline)] を押します。

応答不可をオンにする

特定の作業に集中したいときに応答不可 (DND) 機能を使用すると、電話機をサイレント状態にして着信コール通知を無視できます。

DNDをオンにすると、着信コールはボイスメールなどの別の番号 (設定されている場合) に転送されます。DNDは、電話機のすべての回線に影響します。ただし、DNDがオンになっていてもインターコム コールと緊急通話は常に受信します。

DNDがオンの場合、電話スクリーンのヘッダーセクションの色が変化し、[応答不可 (Do not disturb)] が表示されます。

また、ユーザ設定でDNDを制御することもできます。詳細については、[設定](#)を参照してください。

手順

-
- ステップ1 サイレントをオンにするには、[サイレント (DND)] を押します。
 - ステップ2 DND をオフにするには、[DND の無効化 (Clr DND)] を押します。
-

スターコードを使用して DND をオンまたはオフにする

電話機に設定されたそれぞれのスターコードをダイヤルすることで、応答不可機能をオンまたはオフにすることができます。管理者は、[設定ユーティリティ (Configuration Utility)] ページの [DND 有効化コード (DND Act Code)] フィールドと [DND 無効化コード (DND Deact Code)] フィールドにそれぞれスターコードを入力します。

手順

-
- ステップ1 DND をオンにするには、管理者から提供されたスターコードをダイヤルします。
 - ステップ2 DND をオフにするには、管理者から提供されたスターコードをダイヤルします。
-

同僚の電話機に応答する (コールピックアップ)

同僚との間でコール処理タスクを共有している場合、同僚の電話機に着信しているコールに応答することができます。まず、管理者が少なくとも1つのコールピックアップグループにこのユーザを割り当てる必要があります。

グループ内のコールに応答する (ピックアップ)

自分のコールピックアップグループ内の別の電話機で鳴っているコールに応答することができます。ピックアップ対象のコールが複数ある場合、呼び出し時間が最も長いコールに応答することになります。

手順

-
- ステップ1 (任意) [回線ボタン (line button)] を押します。
 - ステップ2 自分のピックアップグループ内の着信コールを自分の電話機に転送するには、[ピックアップ (PickUp)] を押します。
-

コールのミュート

コール中に音声をミュートすると、自分の声が相手に聞こえず、相手の声だけを聞くことができます。

ビデオ電話では、音声をミュートしても、カメラはビデオを送信し続けます。

手順


-
- ステップ1 [ミュート (Mute)]  を押します。
- ステップ2 再度 [ミュート (Mute)] を押すと、ミュートはオフになります。
-

コールの保留

コールを保留にする

アクティブ コールを保留にしたり、準備が整ったときに保留中のコールを再開したりできます。

手順


-
- ステップ1 [保留 (Hold)]  または [保留 (Hold)] ソフトキーを押します。
- ステップ2 保留中のコールを再開するには、[再開 (Resume)] ソフトキーまたは [保留 (Hold)] ボタンを押します。
-

長時間にわたって保留されているコールに応答する

保留状態が長くなると、次のようなキューによる通知が表示されます。

- 受話器上で点滅するメッセージ インジケータ
- 電話スクリーン上の [視覚的な通知 (Visual notification)]
- 保留リマインダが電話の Web ページで設定されている場合は、電話での呼び出し音通知

手順

保留中のコールを再開するには、[保留 (Hold)]  または [再開 (Resume)] を押します。

アクティブコールと保留コールの切り替え

アクティブなコールと保留中のコールは、簡単に切り替えることができます。

手順

保留コールのセッション ボタンを押すと保留コールが再開され、もう1つのコールが自動的に保留になります。

コールパーク

電話機を使用して、コールをパークすることができます。その後、ご使用の電話機または別の電話機（同僚のデスクや会議室にある電話機など）からそのコールを取得できます。

コールがパーク状態にある時間が長すぎる場合、アラート トーンが聞こえます。この電話機でコールに応答するか、別の電話機から取得することができます。所定の時間内にコールに応答しない場合、システム管理者が設定した別の接続先（ボイスメールなど）にコールがルーティングされます。

パークされたコールは1回線を占有します。

コールパークを使用してコールを保留にする

電話機で応答したアクティブコールをパークした後、コール制御システム内の他の電話機を使ってそのコールを取得することができます。

自分の電話機にコールをパークすることもできます。その場合は、録音を聞くことができません。コールパーク番号にパークできるコールの数は1つだけです。

はじめる前に

コールがアクティブでなければなりません。

手順

-
- ステップ1** [パーク (Park)] を押します。
パークされたコールの番号を尋ねる録音メッセージが電話機で再生されます。
 - ステップ2** (任意) キー拡張モジュールにコールパークが設定されている場合は、コールパーク回線キーを押します。
 - ステップ3** 番号を入力して、シャープ (#) を押します。
 - ステップ4** (任意) パークされた番号を、コールを取得する担当者に伝達します。
-

コールパークを使用して保留中コールを取得する

ネットワークの任意の場所から、パークされたコールをピックアップできます。

はじめる前に

コールのパークに使われた番号を知っておく必要があります。

手順


-
- ステップ 1** [パーク解除 (Unpark)] を押します。
- ステップ 2** (任意) キー拡張モジュールにコールパークが設定されている場合は、コールパーク回線キーを押します。
- ステップ 3** コールがパークされている番号を入力し、その後にシャープ (#) を入力します。また、シャープ (#) を入力して、パークされているコールを取得することもできます。自分の電話機でパークされたコールを取得する場合は、番号を入力する必要はありません。
-

コールの転送

電話機の回線にかかってきたコールを別の番号に転送することができます。コール転送は、電話回線ごとに設定します。コール転送が有効でない回線にコールがかかってきた場合、通常どおりコールの呼出音が鳴ります。

コールを転送するには、次の 2 つの方法があります。

- すべてのコールを転送する
- 電話機がビジー状態の場合、または応答がない場合など、特殊な状況でコールを転送する

回線が転送されている場合、その回線に [不在転送 (Forward all)]  アイコンが表示されます。

手順

-
- ステップ 1** 転送する回線が非アクティブの場合は、[転送 (Forward)] を押します。
- ステップ 2** 自分の電話機からダイヤルするのとまったく同じ方法で転送先番号を入力するか、最近の通話履歴からエントリを選択します。
-

関連トピック

[\[設定ユーティリティ \(Configuration Utility\)\] ページ](#)
[特定の状況でのコールの転送](#)

設定ユーティリティによる特定の状況でのコールの転送

設定ユーティリティを使用して、電話機が話中のときなど、特定の状況ですべてのコールを転送するように電話機をセットアップします。

また、ユーザ設定からコール転送をセットアップすることもできます。詳細については、[設定](#)を参照してください。

手順

- ステップ 1 [設定ユーティリティ (Configuration Utility)] ページで、[ユーザ ログイン (User Login)] > [音声 (Voice)] > [ユーザ (User)] をクリックします。
- ステップ 2 [コール転送 (Call Forward)] セクションの下で、[コール転送設定 (Cfwd Settings)] を [はい (Yes)] に設定して、有効にする各コール転送サービス用の電話番号を入力します。
 - [すべての宛先をコール転送 (Cfwd All Dest)] : すべてのコールを転送します。
 - [話中の宛先をコール転送 (Cfwd Busy Dest)] : 回線が話中の場合にのみコールを転送します。
 - [応答のない宛先をコール転送 (Cfwd No Ans Dest)] : 回線の応答がない場合にのみコールを転送します。
 - [応答なしコール転送の遅延 (Cfwd No Ans Delay)] : 応答遅延時間を割り当てます。

管理者が電話機の機能キー同期 (FKS) を無効にしている場合は、コールの転送が必要となるまでの秒数として値を入力することができます。

管理者が電話機の機能キー同期 (FKS) を有効にしている場合は、コールの転送が必要となるまでの呼出音の回数として値を入力することができます。
- ステップ 3 [すべての変更の送信 (Submit All Changes)] をクリックします。


通話の転送

アクティブ コールを別のの人に転送することができます。

別のユーザにコールを転送する

コールを転送した場合、他の担当者が応答するまでは、元のコールに接続した状態を保つことができます。これにより、電話を切る前に別の相手と個別に話す機会が得られます。話す必要がない場合は、他の担当者が応答する前にコールを転送します。

手順

- ステップ1 保留中ではないコールで、[転送 (Transfer)]  を押します。
 - ステップ2 別の担当者の電話番号を入力します。
 - ステップ3 (任意) 回線の呼出音が鳴るか、他の担当者がコールに応答するまで待機します。
 - ステップ4 再度 [転送 (Transfer)] を押します。
-


転送を行う前の会話

コールを転送する前に、転送先の相手と会話することができます。

はじめる前に

アクティブ コールを転送しなければならない場合があります。

手順



- ステップ1 [転送 (Transfer)]  を押します。
 - ステップ2 転送先の電話番号を入力します。
 - ステップ3 相手が応答すると、相手と話すことができます。
 - ステップ4 (任意) 回線キーを押して、保留中のコールに戻ります。
 - ステップ5 (任意) 回線キーを押して、転送先の電話番号に戻ります。
 - ステップ6 [転送 (Transfer)] を押して転送を開始します。
-

電話会議とミーティング

1つのコールで複数の相手と話し合うことができます。別のユーザにダイヤルして、そのユーザをコールに追加することができます。複数の電話回線がある場合は、2つの回線にまたがる2つのコールを結合できます。参加者全員が電話を切ると、会議は終了します。

他の人をコールに追加する

手順

-
- ステップ1 アクティブコールから、[会議 (Conference)]  を押します。
 - ステップ2 追加する通話相手の電話番号を入力し、[ダイヤル (Dial)] を押します。
 - ステップ3 [会議 (Conference)] ボタン  を押します。
会議が開始されます。
-

電話機のグループのページング (マルチキャストページング)

管理者は、電話機をページンググループの一部として設定できます。ページンググループでは、電話機が電話システム内の他のマルチプラットフォームフォンのページに自動的に応答できます。各ページンググループには、固有の番号が関連付けられています。設定されたページンググループ番号を管理者が提供します。電話機がページングされると、短いビープ音が3回鳴ります。電話機が、あなたとあなたにコールした電話機との間で片通話を確立します。ページを承認する必要はありません。

手順

ページンググループの番号をダイヤルします。

複数の回線

他のユーザと電話番号を共有する場合、複数の回線を電話機で使用できます。複数の回線を使用するときには、より多くのコール機能を利用できます。

最も古いコールから応答

電話機のすべての回線における最も古いコールに応答できます。これには、アラート状態の保留復帰およびパーク復帰コールも含まれます。着信コールは、保留またはパーク復帰コールよりも常に優先されます。

複数の回線を操作しているときには、通常、応答したい着信コールの回線ボタンを押します。回線とは無関係に最も古いコールに応答するには、[応答 (Answer)] を押します。

電話機ですべてのコールを表示する

(すべての電話回線からの) すべてのアクティブ コールのリストを、古いものから順番に表示できます。

すべてのコールのリストは、複数の回線がある場合、または他のユーザと回線を共有している場合に役立ちます。このリストにはすべてのコールが一緒に表示されます。

共有回線

単一の電話番号を 1 人または複数の同僚と共有できます。たとえば、管理者のアシスタントは、管理者のためにコールの発信者名確認を担当することがあります。

電話番号を共有すると、他の通常の電話回線と同じようにその回線を使用できますが、共有回線に特有の次のような動作に注意してください。

- 共有された電話番号は、その番号を共有しているすべての電話機に表示されます。
- 誰か同僚がコールに応答した場合、手元の電話機の共有回線ボタンとセッションボタンが赤色に点灯します。
- 自分がコールを保留にした場合、自分の回線ボタンが赤色に点灯し、セッションボタンが赤色に点滅します。同僚の回線ボタンも赤色に点灯し、セッション ボタンが赤色に点滅します。

[共有回線 (Shared Line)]のコールに参加する

自分または同僚は、共有回線上のコールに参加できます。その場合は、管理者が電話機の機能を有効にする必要があります。

回線を共有しているユーザのプライバシーがオンになっている場合、そのユーザの回線設定は表示されず、そのユーザのコールに自身を追加することもできません。

手順

-
- ステップ 1 [共有回線 (Shared Line)]の [回線 (Line)] ボタンを押します。
 - ステップ 2 [割り込み (Barge)] または [サイレント割り込み (BargeSilent)] を押します。
-

モバイル デバイスとデスクの電話機

携帯電話を持っている場合、モバイルデバイスとデスクの電話機を接続できます。この接続により、モバイルデバイスまたはデスク電話機のどちらでもコールを発信したり応答したりできるようになります。

Cisco IP Phone 8851 および 8861 がこの機能をサポートしています。

ただし、複数の Cisco IP Phone 8800 シリーズ デスク フォンをペアリングしないでください。

関連トピック

[Bluetooth ヘッドセット](#)

Intelligent Proximity を使用した通話

Bluetooth を使用すると、モバイルデバイス（電話機またはタブレット）とデスクの電話機をペアリングできます。モバイルデバイスをペアリングして接続すると、電話機に追加の電話回線としてモバイル回線（自分の携帯電話番号）が表示されます。デスクの電話機からこの携帯電話のコールを発信/受信することができます。このようにデスクの電話機でモバイル回線を使用できる機能を、Intelligent Proximity といいます。

モバイル デバイスとデスク電話機のペアリング

モバイルデバイスとデスクの電話機をペアリングすると、接続範囲内に入ったモバイルデバイスと電話機が接続されます。モバイル デバイスが範囲外になると、電話機との接続が切断されます。

Bluetooth モードが [ハンズフリー (Handsfree)] オプションまたは [両方 (Both)] オプションに設定されている場合にのみ、携帯電話を接続できます。Bluetooth モードが [両方 (Both)] に設定されている場合は、ヘッドセットと携帯電話が互いにペアになりますが、接続中状態にできるのは 1 台のデバイスのみです。

モバイルデバイスと電話機が接続された後、モバイルの連絡先と通話履歴をデスクの電話機に保存することができます。


最大で 8 台の電話機をペアリングすることができます。9 台目の電話機をペアリングしようとするすると、現在ペアリングされているデバイスのいずれかを削除するよう求めるプロンプトが表示されます。

はじめる前に

モバイルデバイスで Bluetooth が有効になっていて、検出可能であることを確認してください。詳細については、モバイルデバイスのマニュアルを参照してください。

Cisco IP Phone 8851/8861 で Bluetooth をオンにします。Bluetooth モードを [ハンズフリー (Handsfree)] または [両方 (Both)] にして、電話機が携帯電話番号用の電話回線を予約するようになります。


手順

- ステップ 1 デスクの電話機で、[アプリケーション (Applications)]  を押します。
 - ステップ 2 [Bluetooth] > [デバイス (Devices)] を選択します。
 - ステップ 3 [スキャン (Scan)] を選択します。
 - ステップ 4 使用可能なデバイスのリストからペアリングするモバイル デバイスを選択します。
 - ステップ 5 [接続 (Connect)] を選択します。
 - ステップ 6 求められた場合は、モバイル デバイスでパスキーを確認します。
 - ステップ 7 求められた場合は、デスク フォンでパスキーを確認します。
 - ステップ 8 (任意) モバイル デバイスの連絡先と通話履歴をデスクの電話機で利用可能にするかどうかを選択します。
-

接続された携帯端末の切り替え


ご使用の Cisco IP Phone の圏内に 2 台以上のペアリングされた携帯端末が存在する場合は、接続する携帯端末を選択できます。

手順

- ステップ 1 [アプリケーション (Applications)] ボタン  を押します。
 - ステップ 2 [Bluetooth] > [デバイス (Devices)] を選択します。
 - ステップ 3 使用可能なデバイスのリストから携帯端末を選択します。
-

携帯端末の削除


手順

- ステップ 1 [アプリケーション (Applications)] ボタン  を押します。
 - ステップ 2 [Bluetooth] > [デバイス (Devices)] を選択します。
 - ステップ 3 使用可能なデバイスのリストからモバイル デバイスを選択します。
 - ステップ 4 [オプション (Option)] > [削除 (Delete)]]。
 - ステップ 5 [削除 (Delete)] を選択して操作を確認します。
-

ペアリングされた Bluetooth デバイスの表示

ペアリングされた携帯端末は、ペアリング済みデバイス一覧に表示されます。このデバイスは、デスクの電話機とのペアを解除するまで一覧に表示されます。

手順

-
- ステップ 1** [アプリケーション (Applications)] ボタン  を押します。
- ステップ 2** [Bluetooth] > [デバイス (Devices)] を選択します。
-

携帯電話の Intelligent Proximity

携帯電話の連絡先および通話履歴をデスクの電話機と共有し、携帯電話とデスクの電話機の間でコールを移動できます。また、デスクの電話機でモバイル デバイスの電波強度と電池残量を表示することもできます。

モバイル コール着信を処理する

はじめる前に

携帯電話はデスクの電話機にペアリングされます。

手順

携帯電話でコールが鳴ったときに、デスク電話機で次のいずれかの操作を行います。

- コールに応答するには [応答 (Answer)] を押します。
- コールを拒否してボイスメールに送るには、 [拒否 (Decline)] を押します。

モバイル コールの発信

はじめる前に

携帯電話はデスクの電話機にペアリングされます。

手順

-
- ステップ 1** デスクの電話機でモバイル回線を選択します。
- ステップ 2** 電話番号を入力します。
- ステップ 3** [コール (Call)] を押します。
-

デスク電話機とモバイル デバイスの間でコールを移動する

デスクの電話機を使用して、アクティブコールをモバイルデバイスに移動したり、デスクの電話機に戻したりすることができます。

はじめる前に

携帯電話はデスクの電話機にペアリングされます。

手順

デスクの電話機からモバイルデバイスに（または逆方向に）コールを移動するには、[音声を移動 (Move audio)] を押します。

携帯端末の音量の調整


Phone と携帯端末の音量コントロールは同期されます。アクティブコールを実行している場合は、同期のみが実行されます。

はじめる前に

携帯電話はデスクの電話機にペアリングされます。

手順

次のいずれかの操作を行います。

- デスクの電話機で [音量 (Volume)]  を押します。+ を押して音量を上げるか、- を押して音量を下げます。
- モバイル デバイスの [音量 (Volume)] ボタンを押します。


デスクの電話機でモバイルの連絡先を表示する

デスクの電話機で、携帯電話の連絡先リストを表示します。これは、携帯電話にアクセスせずに連絡先を表示できる便利な方法です。

はじめる前に

モバイルデバイスとデスクの電話機を接続して使用するには、Bluetooth を使用して2台の電話をペアリングします。モバイルデバイスの連絡先を共有するオプションを選択します。

手順

-
- ステップ1** デスクの電話機で、[連絡先 (Contacts)]  を押します。
- ステップ2** 一覧から携帯電話を選択します。
-

モバイルデバイスの連絡先をデスクの電話機に保存する

モバイルデバイスの連絡先リストをデスクの電話機に保存できます。このモバイル連絡先リストは、モバイルデバイスを切断したりペアリングを解除したりしても、デスクの電話機に保持されます。

はじめる前に

携帯電話はデスクの電話機にペアリングされます。

手順

-
- ステップ1** [連絡先 (Contacts)] ボタン  を押します。
- ステップ2** 携帯電話を選択します。
-


モバイルデバイス連絡先リストで連絡先を削除する

デスクの電話機では、モバイル連絡先リストを削除できます。携帯電話の連絡先リストは削除されません。

はじめる前に

携帯電話はデスクの電話機にペアリングされます。

手順

-
- ステップ1** [連絡先 (Contacts)] ボタン  を押します。
- ステップ2** 携帯電話を選択します。
- ステップ3** [削除 (Delete)] にチェックマークを付けます。
-

デスクの電話機でモバイル通話履歴を表示する

デスクの電話機に携帯電話のコール履歴を表示できます。

はじめる前に

デスクの電話機でモバイルコール履歴を表示するには、**Bluetooth** を使用して携帯電話とデスクの電話機をペアリングします。モバイルコール履歴をデスクの電話機と共有するオプションを選択します。

手順

デスクの電話機で、[発信 (New Call)] を押します。